

○救急医療確保対策事業 《健康・スポーツ課》

事業の現状・課題	<p>◇ 休日における救急医療体制については、町内15医療機関による在宅当番医制度(1医療機関あたり年5回程度)で運用しているが、各医療機関の診療科目は様々である。平成24年度の受け入れ実績1,224件のうち小児科受診件数が547件で全体の44.7%を占めており、町民からすると当番医が小児科でない場合には、近隣他市の医療機関を受診せざるを得ないという不便な状況で、町民ニーズに対応できていないと言える。また、医療機関によっては、年間10件程度しか受け入れ実績のないところもあり、医療機関間での不公平感も相当高い状況にある。</p> <p>◇ 町内に救急対応の拠点となる公立病院が無いため、平成24年度の救急車搬送実績1,809人のうち、町外への搬送が1,433人と全体の約79%を占めており、更に、町内搬送のほぼ全てを町内に1件のみである救急告示指定病院の寒川病院に搬送している状況である。</p> <p>◇ ドクターヘリの発着所は中央公園1カ所のみで、平成24年度の寒川町の使用実績は6件と少ない状況ではあるが、重度症例患者を搬送し高度救命措置を行うことにより、住民の期待に応えていると言える。</p>	
	<p>事業の方向性</p>	<p>要改善 (委員別内訳 要改善:3、拡充:1、抜本的見直し:1)</p> <p>◇ 休日における在宅当番医制度は、利便性・効率性の点で問題があり、また、将来的には町内医療機関の医師の高齢化等により医療機関確保が難しくなるなどの懸念もあることから、今後も現制度を維持することは難しいと思われる。また、現在の救急車の搬送状況をも踏まえ、次の事項に関し早急に検討されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 広域連携による取り組み * 寒川病院に夜間救急救命センターの設置を要請 (町のバックアップ等の支援体制が必要) * 町内に医療センターを設置
評価結果	<p>予算額</p>	<p>現行 (委員別内訳 現行:5)</p>
	<p>◇ 現行の在宅当番医制度については、1日あたり約12万円の経費で妥当な金額であるが、現行制度の問題解消に向け、予算増額を避ける形で広域連携等に係る検討を早急に行われたい。</p>	

《救急医療確保対策事業に係るヒアリング・協議の内容》

(委員長) 受け入れ拒否対策については、何か出来ないのか。

(主管課長) 湘南地域においては、神奈川県の中でも受け入れ拒否が出ないような対策をとっている中で、消防もどこの病院に連絡すれば受けてもらえるか連携を諮っていることと、病院の受け入れ体制が良いことから、非常に受け入れが良いと聞いている。

(担当) 今年の6月1日から、「神奈川県傷病者の搬送及び受け入れの実施基準に定める受け入れ医療機関確保基準に関する申し合わせ事項」というものを締結した。内容は、寒川町・茅ヶ崎市・藤沢市と茅ヶ崎市立病院、藤沢市民病院とが締結先で、救急に出てから、消防職員が4回以上問い合わせた場合若しくは、現場の滞在時間が30分以上経過した場合は、優先的に受け入れてもらえるといったこととなっており、以前以上に受け入れ体制が整っている状況となっている。

(委員長) 救急受診件数が休日昼間で1224件で、休日診療を行っている日数が72日、1日平均約17人ということだが、ニーズはあるということか。

(主管課長) 現実的には診療科目の中で、人数の大小がある。

(委員長) ホームページ等で担当診療科が分かるが、それによって行くかどうかを決める人もいるのか。

(主管課長) おそらくあると思う。

(委員長) 近隣自治体で担当当番医ではなくて、一つの場所を借りて医者が来て休日診療を行う体制をとっているところもあると思うが、それと比べて人数的には平均17名というのはどうか。

(主管課長) 茅ヶ崎市の場合は、急患センターがあり、医師がローテーションを組み行っていますが、専門性のある科目が開かれていると受診される方は科目により受診しに行かれると思うので、科目が定まった方が受診しに行く人は多いのではないかと思う。

(委員長) 概要説明書では、効率性は適切であるが改善の余地があると記載されているが、担当医の専門が違うからということか。

(主管課長) 乳児の場合、一定の先生でないと扱えないので、診療の場合は事前に電話して診療出来るか確認をとるようにしている。

(委員長) 平均にすると1日17人だが、これは診療科目によってバラツキがあるということか。

(担当) そうです。特に小児科の先生の場合は多いです。平成24年度の休日昼間だと、総数が1229件のうち547件が小児科関係の先生が診療している。

(委員長) ニーズに応えられていないということか。

(主管課長) これまでは茅ヶ崎市民病院などをお願いして対応しています。現実問題として茅ヶ崎市立病院の小児科が非常に混み合っているということで、昨年度から茅ヶ崎市では、平日夜間に小児科を実施したと聞いている。

(副委員長) 搬送先について消防で把握していると思うが、その資料をいただきたい。

(主管課長) 後日回答します。

[後日回答] 221ページのとおり

(委員長) 国・県からの補助金が、1/3と記載されているが詳細を聞きたい。

(担当) 県の基準単価があり、それに日数をかけてその値の1/3となっている。

(委員長) 基準単価というのは、1日ということか。

(担当) 半日単価で、昼間の部分と夜間の部分が同じ単価で定められている。

(委員長) 県が定めている基準単価(65,956円/1日)は、1日これくらいで済むという見積りだと思うが、町が支払っている金額が111,300円というのは妥当なのか。

(主管課長) 近隣の委託料を把握していないのだが、通常会議などで来ていただいている単

価とかを鑑みると、高いものとは言えないと思っている。

(委員長) 会議などで来てもらっている時の単価はいくらなのか。

(主管課長) 検診等で来ていただいている時は、2時間程度で2万円くらいとなっている。

(委員長) 寒川町内15医療機関の中で、受診率の偏りがあるようだが、医師の中では納得を得られているのか。

(主管課長) 納得というか、医師は忙しくても自分で受けとめられれば診療していただけると思うが、専門外でそれをお断りせざるえない時の心苦しさを考えると、かなり精神的なご負担を与えていると考えている。

(委員長) 眼科と耳鼻科は広域で行っているが、小児科を広域で行うことは出来ないのか。

(主管課長) 現実問題として、医師の先生がかなり高齢化となっており、平成23年度は16箇所の医師の方をお願いしていたのだが、1カ所閉院され、現在15カ所で回してもらっている。先生方の負担が増えていることや長期休暇時期においても当たってしまうと医師の先生の身動きがとれない状況となっているため、今後の方向を考えると、どこかで転換期は必要だと思っている。

(委員長) 町民の声として、子供が病気になったときに安心出来ないといったような声はないか。

(主管課長) 具体的に休日在宅医のシステムについての声は届いていない。

(委員長) ドクターヘリの負担金はどうに出しているのか。

(担当) 計算が複雑なのだが、決算額の全体金額1/2を国が負担し、全体金額1/3を神奈川県及び山梨県が負担。残りの1/6が市町村の負担となっています。また、市町村の負担金であってもその中で、通常かかってしまう均等割というのと、実績分があり、実績分の中には固定分及び流動分に分かれている。要請回数によって変わるのが、実績分の中の流動分となっている。

(委員) ドクターヘリを要請する判断はだれがするのか。

(主管課長) 消防で判断している。ちなみに必ず毎年、ドクターヘリを要請したことの判断が良かったのか、または間違っていたのかを県の連絡調整会議で一例ごとに検証している。

(副委員長) 平成24年度休日夜間に102件きているが、これは救急車で運び込まれたのか。

(主管課長) 個人において車やタクシーで来院された件数となっている。

(副委員長) ドクターヘリの着陸地点が中央公園とのことだが、何か印はしているのか。

(主管課長) 芝生のところに着陸するので、印はしていない。

(副委員長) ヘリが降りるときに、町民がいるのではないか。

(主管課長) ヘリが着陸する際は、消防職員が芝生に入らないようにそれぞれに立ちまして芝生に立ち入らないように対応している。

(委員長) 診療科目の人数の詳細を教えてください。

(担当) 平成24年休日昼間ですが、内科507件、小児科547件、外科37件、整形外科48件、皮膚科57件、他に消化器系や産婦人科などがそれぞれ10件程度となっている。

(委員) 各病院からは休日在宅医に対して意見等でしていないのか。

(主管課長) 個別ではないが、医師会からは、条件整備の中で科目が自分の専門外の時に受けるのが厳しいといったことは聞いている。

概要説明書

事務事業・事務経費名	救急医療確保対策事業	体系コード	3122-01
主管課等名	健康・スポーツ課 健康づくり担当	事業開始年度	昭和55年度

○事務事業・事務経費の概要

目的	医療機関の休診日に医師等を確保することで、休日等に急病になった住民に受診の機会を提供する。重度症例患者をドクターヘリにより搬送し、高度救命措置を行う。		
概要	休日及び年末年始の昼間夜間において、病気・けが等による診療手当が必要なときに、いつでも医療機関で診療が受けられる救急医療体制の充実を図るとともに、重度症例患者をドクターヘリにより搬送し、高度救命措置を行う。		
目標	救急医療確保率(%)	平成24年度の指標	100
		平成24年度の実績	100
効果	救急医療対応率(%)	平成24年度の指標	100
		平成24年度の実績	100

○平成24年度実施内容

(単位:千円)

実施方法	○委託業務の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (委託業務名と委託先：休日昼間・夜間救急診療事務委託(茅ヶ崎医師会))			
	○補助金の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (補助金名と補助先：眼科救急医療確保対策費補助金(茅ヶ崎医師会))			
主な事務の内容とその額	事務	詳細内容	平成24年度 決算見込額	平成25年度 予算額
	・初期救急医療確保対策委託料	・休日(昼間午前9時から午後5時、夜間午後7時から午後10時)に在宅当番医制で、町内15医療機関において急病になった者に対し、迅速かつ的確な診療を行う。	8,644	8,533
	・県ドクターヘリ運営費負担金	・救急性が高い場合、ドクターヘリを用いて、病院に搬送し、高度救命措置を行う。神奈川県(33市町村)と山梨県(13市町)とで共同運営。費用は国・県・市町村からの負担金で運営。	633	946
	・県ドクターヘリ連絡調整会議負担金		8	8
	・眼科救急医療確保対策費補助金	・眼科は鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の医療機関で在宅当番医制で実施。	20	20
	・耳鼻咽喉科救急医療確保対策費補助金	・耳鼻咽喉科は藤沢市休日診療所において固定輪番制で実施。	0	1
	事業費・経費 計		(a) 9,305	9,510
	平成24年度人件費相当額		(b) 3,086	平均給与額 @6,566千円 × 0.47人
	本事業・経費に係る費用の計		(a)+(b) 12,391	/

概要説明書

○平成24年度の実施状況に対する内部評価

評価の視点		評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<ul style="list-style-type: none"> 必要な事務事業か 事務事業のニーズは 事務事業の公共性は 社会環境変化 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 妥当ではない	休日在宅医は、町内医療機関が行っており、住民の生命を守るためには必要である。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<ul style="list-style-type: none"> 町が実施すべき事務事業か 町が実施しない場合の影響は 町民との協働は進めているのか 	<input checked="" type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性は低い <input type="checkbox"/> 町が行うべきではない	ドクターヘリは神奈川県、山梨県、市町村で共同事業のため、町が実施する。初期救急医療は町内医療機関の実状に合わせて実施。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度かどうか	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成度 活動内容は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果は十分とは言えない <input type="checkbox"/> 成果が上がっていない	住民の全てのニーズに応えることは困難だが、必要なニーズには対応していると考えられる。
効率性	事業費・経費に無駄はないか	<ul style="list-style-type: none"> 効率的に行われているか コストの削減 実施手法 受益者負担 	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 適切ではあるが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	休日昼間・夜間救急診療については、委託先より内容について意見が複数上がっている。検討の必要がある。
必要性 (事業規模の縮小や休廃止した際の影響等)		<ul style="list-style-type: none"> 町内には拠点となりうる公立病院が無い。救急への対応は救急告示病院となるが、茅ヶ崎市内が多く、受診するのに利便性が良くない。休日在宅医については診療科目は様々だが、町内で受診することが出来必要である。 		
平成25年度に向けた課題		<ul style="list-style-type: none"> 休日在宅医は町内医療機関の協力のもと成り立っているが、年末年始やゴールデンウィーク等の長期休暇における医療機関との日程調整に心配りする必要がある。 		
平成25年度(現時点)の状況と今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 現在、町内で在宅当番医制に参加している医療機関は、個人診療所が多い。今後、医師の高齢化が進み、救急診療に対応できなくなる可能性があるため、人材や場所の確保を検討していく必要がある。 		

○その他

町における類似事業	なし。
比較参考値 (他自治体の状況・ベンチマーク等)	茅ヶ崎市救急体制:休日・夜間急患センター(茅ヶ崎市立病院西側) 日曜日・休日・年末年始… 9時～17時:内科、外科、小児科 17時～23時:内科 平日・土曜日 …20時～23時:内科、小児科
特記事項 (事業の沿革等)	平成16年度より、ドクターヘリ共同運営。平成20年度初期救急医療平日診療廃止。

救急医療確保対策事業 《健康・スポーツ課》

委員氏名	確認したい内容(希望する資料)	回答
石田 委員長	救急医療確保率100%、救急医療対応率100%とあるが、休日に何人の急患があったのか？経年推移を示してください。	初期救急受診件数 H24年度 休日昼間 1224件 夜間102件 H23年度 " 1034件 " 115件 H22年度 " 1047件 " 133件
	救急車の受け入れ拒否は無いということか？	平成24年中の搬送先決定までの連絡回数が2回以上の事案は100件ありました。2回が87件、3回が12件、4回が1件となっております。拒否の内容として専門外や処置困難、医師不在などがあげられております。
	救急車の町外搬送はどの程度あるのか？(救急車出動件数に対する町外搬送数)	平成24年中の搬送件数(人員数)1,809人のうち、1,433人を町外の病院に搬送しています。
	ドクターヘリの出動件数と経年推移。	H24年度 全体 285件 町内 6件 H23年度 " 282件 " 4件 H22年度 " 276件 " 4件
	初期救急医療確保対策の在宅当番医制の担当医師は、内科？小児科？外科？内訳を示してください。	別紙1参照
	寒川町に救急患者受け入れ病院はいくつあるのか？	救急告示指定病院として寒川病院があり、平成24年中1,809人の搬送人員中、寒川病院へ374人搬送をしています。
	在宅当番医制をどのように町民に周知しているか？	毎月の広報さむかわ及び寒川町のホームページに掲載しています。
	眼科救急医療確保対策費補助金、耳鼻咽喉科救急医療確保対策費補助金の算定根拠。何故、このように少額なのか？	眼科及び耳鼻咽喉科の診療は茅ヶ崎医師会との契約はしていません。別の体制で寒川町、藤沢市、茅ヶ崎市、鎌倉市で運営をしています。協定の中で眼科は町内の眼科が対応した時に1回10,000円を支出。耳鼻咽喉科は収支がマイナスになった時に市町で人口案分し負担すると定められています。ほぼ県補助金により運営しています。
	事業費の経年推移。	・初期救急 H24年度 72日 8,643,600円 H23年度 71日 8,532,300円 H22年度 71日 8,532,300円 ・眼科 H24年度、H23年度 10,000円 H22年度 10,000円 ・耳鼻咽喉科 H24年度、H23年度、H22年度 負担無し
国・県から補助金を得ている場合は、その金額と補助率。	初期救急には県補助金があります。基準単価32,978円で、補助率は1/3になります。補助金の額はH24年度 1,582,000円、H23年度とH22年度1,560,000円。	

宮内副委員長	救急患者の搬送先を把握されていますか。救急車の出動回数の状況を3年間の実績で教えてください。	消防本部にて統計を行っており、消防年報として過去の搬送件数などを把握しております。 平成24年中1,925件 平成23年中1,943件 平成22年中1,884件
新木委員	初期救急医療を受けた人の年間の人数はどのくらいでしょうか。	初期救急受診件数 H24年度 休日 昼間 1224件 夜間102件 H23年度 " " 1034件 " 115件 H22年度 " " 1047件 " 133件
	ドクターヘリを使用した人の年間人数はどのくらいでしょうか。	H24年度 全体 285件 町内 6件 H23年度 " 282件 " 4件 H22年度 " 276件 " 4件
生田委員	休日在宅当番医療機関への委託料は一日いくらですか。	昼間(9:00~17:00)・夜間(19:00~22:00) 休日 @111,300 年末年始 @216,300
	ドクターヘリの年間利用回数	H24年度 全体 285件 町内 6件 H23年度 " 282件 " 4件 H22年度 " 276件 " 4件
吉田委員	救急医療確保対策費補助金はなぜ眼科と耳鼻咽喉科なのか。	通常の科目は茅ヶ崎医師会と委託契約を締結し、実施しています。眼科及び耳鼻咽喉科は契約外のため補助金として支出しています。

町内の初期救急医療機関および診療科目

(平成25年3月31日現在)

	名 称	病床数	診 療 科 目
1	寒 川 病 院	99	内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・神経内科・リウマチ科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・リハビリテーション科・泌尿器科
2	神 部 医 院	—	内科・外科・皮膚科・泌尿器科
3	木 島 医 院	9	内科・小児科・外科・産婦人科
4	倉 見 整 形 外 科	—	整形外科・リハビリテーション科
5	五 島 ク リ ニ ッ ク	—	内科・皮膚科・泌尿器科
6	寒川駅前クリニック	—	内科・整形外科・皮膚科・リハビリテーション科・麻酔科
7	寒川岡田クリニック	—	内科・神経内科・消化器科・小児科・外科・皮膚科・呼吸器科・循環器科・耳鼻咽喉科・肛門科・リハビリテーション科
8	さむかわ富田クリニック	—	内科・消化器内科・外科・肛門外科・皮膚科
9	玉井産婦人科・小児科	—	小児科・産婦人科
10	永 田 外 科	—	呼吸器科・胃腸科・外科・整形外科・肛門科
11	林こどもクリニック	—	小児科・アレルギー科
12	原 田 医 院	—	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・理学診療科
13	広田内科クリニック	—	内科・小児科
14	村 田 整 形 外 科	—	整形外科・精神科
15	横山外科胃腸科	19	胃腸科・外科・皮膚科・肛門科・理学診療科

・町内の医療機関の集計

病 院…………… 2	一般診療所…………… 1 9	歯科診療所…………… 1 7
柔 整…………… 9	薬局（品）…………… 2 2	

・診療科目の集計

内 科…………… 1 3	外 科…………… 7	小児科…………… 6	整形外科…………… 5
産婦人科…………… 2	肛門科…………… 4	循環器科…………… 4	呼吸器科…………… 4
皮膚科…………… 7	胃腸科…………… 2	泌尿器科…………… 3	消化器科…………… 4
理学診療科… 3	リハビリテーション科… 3	神経内科…………… 2	眼 科…………… 2
耳鼻咽喉科… 3	アレルギー科… 1	精神科…………… 2	
脳神経外科・心療内科・麻酔科・リウマチ科……………各 1			

【平成24年 救急出動による搬送先について】

平成24年中

救急出動： 1,925件
うち、不搬送件数： 130件
うち、搬送件数： 1,795件

pdfの一覧は、1,795件の搬送先です。件数ではなく、人数です。

一覧中のその他欄は、

厚木市：東名厚木病院（5人）、湘南厚木病院（1人）、神奈川利は徹志テーション病院（1人）

相模原市：北里大学東病院（1人）

横浜市：横浜市立市民病院（1人）、横浜市立大学付属病院（1人）、県立がんセンター（1人）

鎌倉市：湘南鎌倉総合病院（2人）

大磯町：東海大学大磯病院（3人）

綾瀬市：綾瀬厚生病院（2人）、矢崎病院（1人）

大和市：大和市立病院（1人）

その他：管外2次病院（1人）*管理システム未登録病院。検証票と照合すれば病院名はわかるが、時間がかかる。

平成24年

収容先別種別搬送人員調べ

	合計	比率	救急活動状況										その他		
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
合計	1,809		1	1		250	35	21	238	15	12	1,185	47	4	
町	寒川病院	374	21%				62	3	3	42	3	3	256	2	
	玉井産婦人科														
	横山外科														
	木島医院														
	広田内科クリニック														
	けやきの森病院														
	林子供クリニック														
	村田整形外科														
	永田外科医院														
内	その他	2	0%									2			
茅ヶ	茅ヶ崎徳洲会病院	374	21%	1			39	8	6	49	2	3	244	22	
	茅ヶ崎市立病院	239	13%				17	2	1	30			178	7	4
	湘南東部総合病院	552	31%		1		114	11	11	91	7	5	312		
	その他														
崎	小計	1,165	64%	1	1		170	21	18	170	9	8	734	29	4
伊勢原	東海大学病院	79	4%				10	8		4	1		51	5	
	その他														
	小計	79	4%				10	8		4	1		51	5	
藤沢	湘南藤沢徳洲会病院	73	4%				5	1		7	1	1	51	7	
	御所見病院	28	2%				2			9	1		16		
	藤沢市民病院	17	1%							1			15	1	
	その他	5	0%										5		
沢	小計	123	7%				7	1		17	2	1	87	8	
平塚	平塚市民病院	12	1%					2		1			8	1	
	平塚共済病院	7	0%										7		
	その他	1	0%										1		
塚	小計	20	1%					2		1			16	1	
海老名	海老名総合病院	25	1%							1			22	2	
	その他														
	小計	25	1%							1			22	2	
その他	厚木市	7	0%				1			3			3		
	相模原市	1	0%										1		
	横浜市	3	0%										3		
	鎌倉市	2	0%										2		
	川崎市														
	大磯町	3	0%										3		
	綾瀬市	3	0%										3		
	小田原市														
	秦野市														
	大和市	1	0%										1		
その他	1	0%										1			
他	小計	21	1%				1			3			17		
町内小計	376	21%				62	3	3	42	3	3	258	2		
町外小計	1,433	79%	1	1		188	32	18	196	12	9	927	45	4	
合計	1,809	100%	1	1		250	35	21	238	15	12	1,185	47	4	